

## 甲状腺検査

## 甲状腺検査 本格検査（25歳時の節目の検査）の結果

最新の調査結果：<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocysa-kentoiinkai.html> へ

### ●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))			
					A		二次検査対象者	
					A 1	A 2	B	C
合計	149,843	12,603(8.4)	4,453	12,286 (97.5)	5,202(42.3)	6,407(52.1)	677(5.5)	0 (0.0)

**A判定：94.4%**

### ●二次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人) 受診率 (%)	確定率 (%)	結果確定数 (人)			
				次回検査		通常診療等	
				A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	651	554(85.1)	546(98.6)	5(0.9)	38(7.0)	503(92.1)	49(9.7)

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

### ●細胞診結果

悪性・悪性疑い 23人 男性：女性 4人：19人  
 平均年齢 25.3±0.7歳（24-27歳）、震災当時15.5±1.6歳（12-18歳）  
 平均腫瘍径 14.2±10.5mm（5.3-49.9mm）

### ●悪性・悪性疑い23人のうち、手術実施18人（乳頭癌17人、濾胞癌 1人）

第52回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査3回目）の実施期間中から（2017年度から）、本格検査の一部として、25歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査はこれまで実施した1992年度から1996年度生まれの対象者、二次検査は1992年度から1995年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査でA判定は全体の94.4%、B判定は5.5%、A2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢が高いため、B判定率および結節の発見率は先行検査、本格検査（検査2～5回目）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、23の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2021年3月31日

改訂日：2025年3月31日